

共起特性から見る 日本語オノマトペの フレーム意味論

秋田 喜美

日本学術振興会／東京大学／
カリフォルニア大学バークレー校

1. 問題設定

- テーマ：
 - (A) オノマトペの意味的定義
 - (B) オノマトペの共起特性

1. 問題設定

(A) オノマトペの定義：

- 形態音韻的特殊性 (Samarin 1971, etc.)

例： 重複形：ぐるぐる

語頭/p/：ぷるん

- 意味的特殊性？

1. 問題設定

- 主観的な形容の数々：

“vivid”	(Doke 1935)
“expressive”	(Samarin 1971)
“eloquent”	(Johnson 1976)
“explicit”	(von Staden 1977)
“sensual/sensuous”	(Mphande 1992)
“specific/concrete”	(Childs 1994; Watson 2001)
“affecto-imagistic, holistic”	(Kita 1997)
“dramaturgic”	(Voeltz & Kilian-Hatz 2001)

1. 問題設定

(B) オノマトペと述語の共起特性：

- 頻繁に指摘（Hirose 1981; Childs 1994; Watson2001; Toratani 2010）：

例： {てくてく／すたすた} 歩く
 {げらげら／くすくす} 笑う

- 数量的検証の不足（cf. 玉岡ら2008）。

1. 問題設定

- 本研究：

コーパスにおける共起特性（コロケーション）をヒントにした日本語オノマトペの客観的な意味的特徴付けの試み。

- 仮説：

もしオノマトペが特別具体的イメージを想起するなら、共起語が限られるはず。

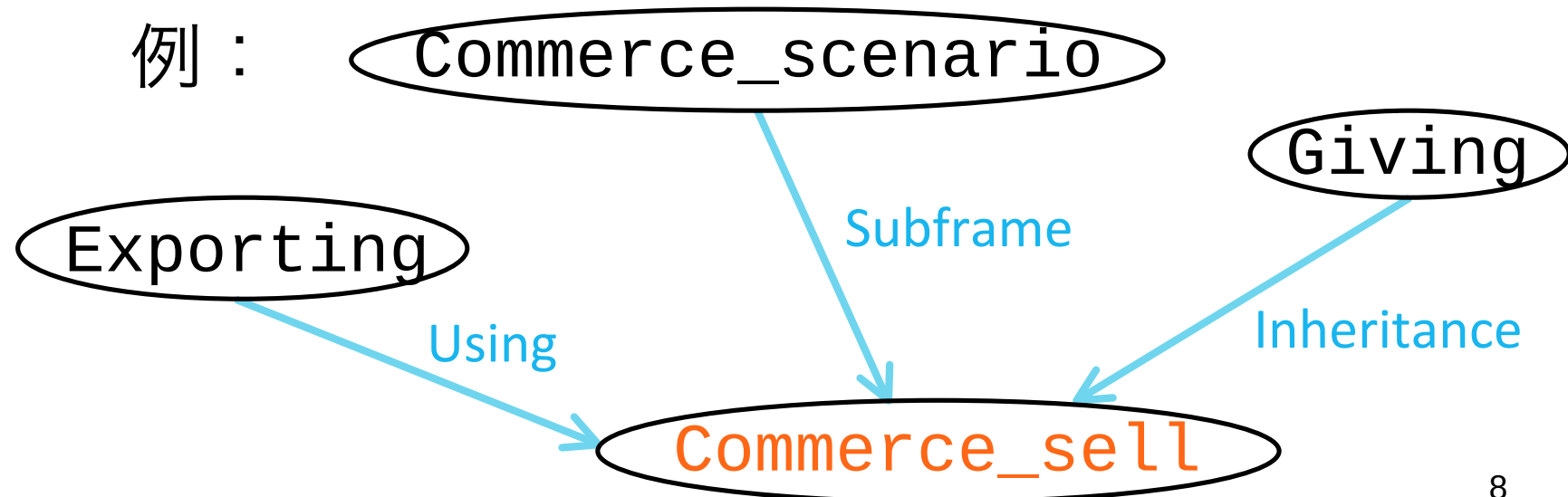
2. 枰組

2. 枠組

- フレーム意味論 (Frame Semantics) :
言語記号の意味を、背景にある知識・状況
(フレーム) の中で捉える (Fillmore 1982, etc.) 。
例 : Commerce_sellフレーム :
$$\left\{ \begin{array}{l} V: \text{auction, retail, sell, vend, etc.} \\ N: \text{retailer, sale, vendor, etc.} \end{array} \right. \rightarrow \text{品詞の束縛が緩い。}$$
- FrameNet (英語、スペイン語、日本語, etc.) :
フレーム基盤のオンライン語彙データベース ₇

2. 枠組

- フレーム間関係 (frame-to-frame relations) :
フレームどうしを様々な結びつけ、ネットワークを形成。



3. 方法

3. 方法

- 『青空文庫』 :
小説コーパス (.:共起関係が特に創造的)
<http://www.aozora.gr.jp/>
- 『茶漉』 :
オンラインコロケーション抽出システム
<http://tell.fl.purdue.edu/chakoshi/public.html/>

3. 方法

- ターゲット：
 - オノマトペ様態副詞：

Kakehi et al. (1996)より2拍語根重複形
(例：ごろごろ) 全518語
 - 一般様態副詞：

仁田(2002)の副詞一覧よりオノマトペではない様態副詞 (例：軽やかに) 全164語

3. 方法

- 抽出対象：
 - 前5～後3形態素（Toratani 2009参照）
 - 動詞、名詞（、形容詞）
 - $t \geq 2$ （“強い共起語”）
- フレームの特定：

英語FrameNet (<http://framenet.icsi.berkeley.edu/>)
を参考に2名でラベリング（一致率99.8%）

4. 結果と考察

4. 結果と考察

- オノマトペ副詞 × 動詞：

- (1) . . . 無雑作に饅頭を割って、むしゃむしゃ
食い始めた。 ($t = 3.31$)

『門』

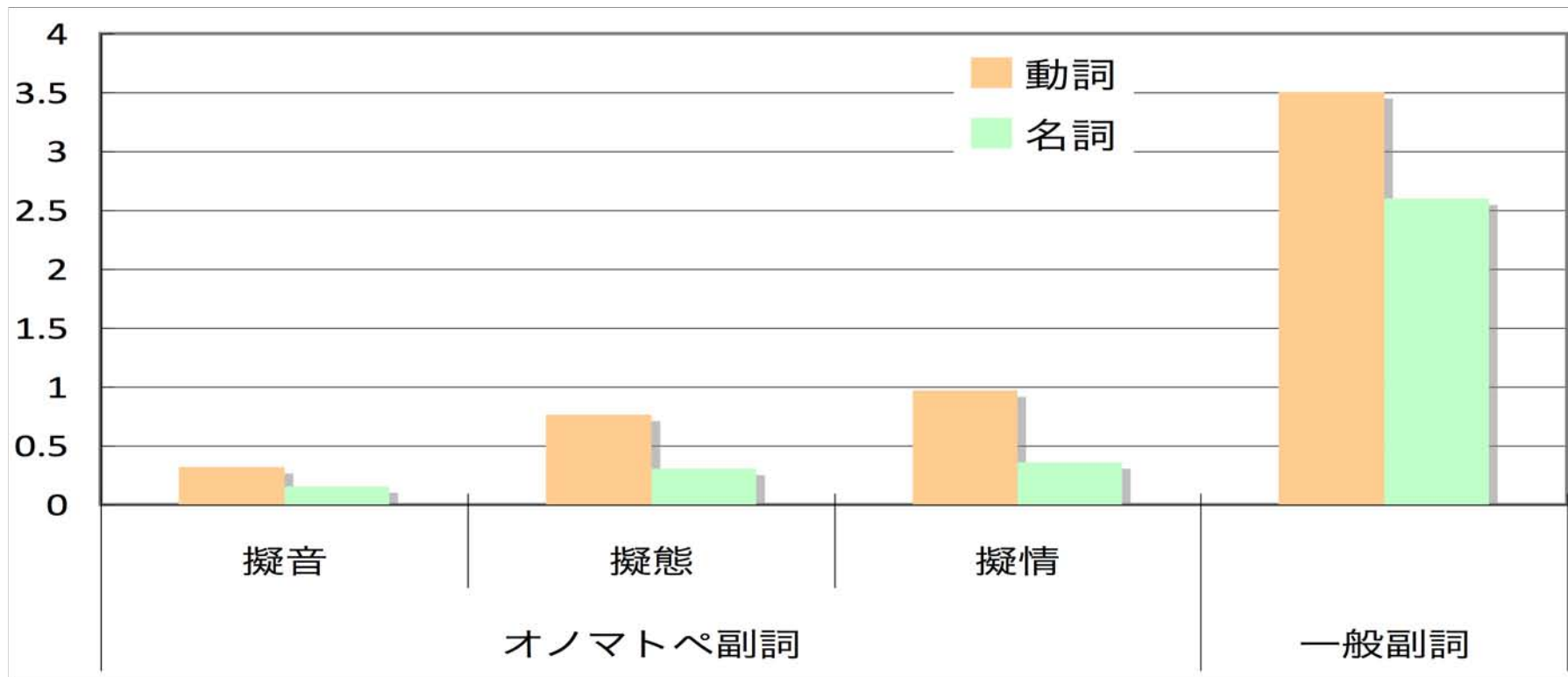
- オノマトペ副詞 × 名詞：

- (2) 定子の住む同じ土地に帰って来たと思うだけでももう胸はわくわくした。 ($t = 3.29$)

『或る女』

4. 結果と考察

- 表1：強い共起語の平均数



類像性階層に沿った連続性
(cf. 佐治・宇野発表)

4. 結果と考察

- フレーム喚起：

- (3) a. 人からじろじろ見られて、とても恥ずかしいことがあるのよ。 ($t = 6.14$)

『母子叙情』

Perception_active

- b. 見るような、見ないような目で、じろじろと小娘をながめていましたが・・・ ($t = 2.32$)

『右門捕物帳：千柿の鍰』

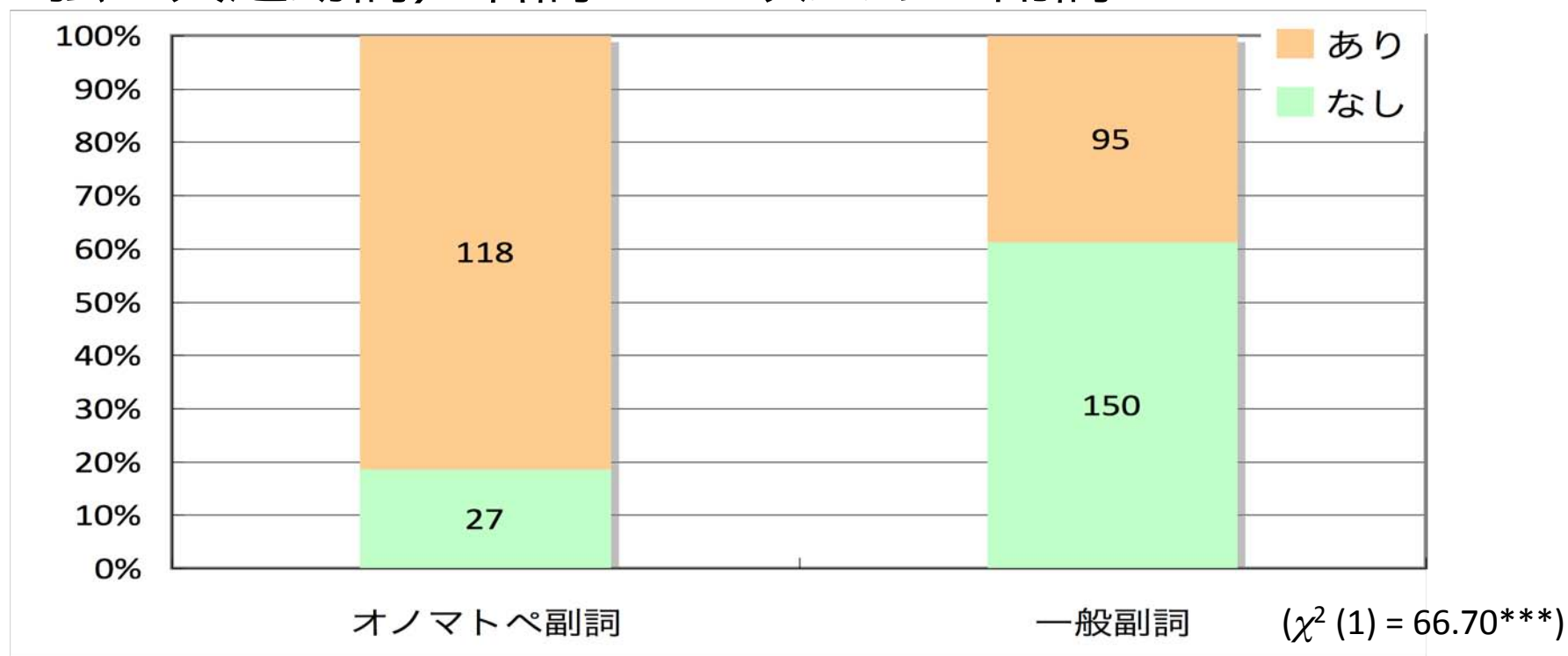
Observable_bodyparts

Using

4. 結果と考察

- 表2：共起語のフレーム間関係

強い共起動詞／名詞が2つ以上ある副詞について



特定のフレームと強く結び付く。

5. 結論

5. 結論

- オノマトペは概して具体的な（動詞や名詞というより）フレームと全体的に結び付く。
- 一般語彙と連続的關係にある。

意味的特殊性

- “vividness”, etc.
- 際立った共起特性

ありがとうございました！

<http://sites.google.com/site/akitambo/>（文献目録など）
akitambo @ gmail.com

謝辞

- Mark Dingemanse氏、今井グループ、JLS@Berkeley、Kiyoko Toratani氏、内田諭氏
- 本研究は以下の補助を受けている：
 - 特別研究員奨励費(#21-2238)
 - Spanish Ministry of Science & Innovation (#FEI2010-14903)
- 文章版: Akita (2010)

参考文献

- Akita, K. 2010. A collocational analysis of Japanese mimetics as special frame evokers. Ms., UC Berkeley.
- Childs, G. T. 1994. African ideophones. In L. Hinton et al., eds., *Sound Symbolism*, 178-204. Cambridge: CUP.
- Doke, C. M. 1935. *Bantu Linguistic Terminology*. London: Longmans, Green, & Co.
- Fillmore, C. J. 1982. Frame semantics. In the Linguistic Society of Korea, ed., *Linguistics in the Morning Calm*, 111-37. Seoul: Hanshin.
- Hirose, M. 1981. *Japanese and English Contrastive Lexicology: The Role of Japanese "Mimetic Adverbs."* PhD diss, UC Berkeley.
- Johnson, M. R. 1976. Toward a definition of the ideophone in Bantu. *OSU-WPL* 21: 240-53.
- Takehi, H., I. Tamori, & L. Schourup. 1996. *Dictionary of Iconic Expressions in Japanese*. Berlin/NY: Mouton.
- Kita, S. 1997. Two-dimensional semantic analysis of Japanese mimetics. *Linguistics* 35: 379-415.

Mphande, L. 1992. Ideophones and African verse. *Research in African Literatures* 23: 117-29.

仁田義雄. 2002. 『副詞的表現の諸相』くろしお出版.

Samarin, W. J. 1971. Survey of Bantu ideophones. *African Language Studies* 12: 130-68.

玉岡賀津雄・木山幸子・宮岡弥生. 2008. 「ヒトの言語産出とコーパスの頻度はどのくらい類似しているか」『日本言語学会第136回大会予稿集』 122-27.

Toratani, K. 2009. Discourse-pragmatic characteristics of mimetics in Japanese. Oita Text Forum Workshop, 大分コンパルホール, 12/13/09.

---. 2010. The role of sound-symbolic forms in Motion event descriptions: The case of Japanese. Ms., York U.

Voeltz, E. F. K. & C. Kilian-Hatz, eds. 2001. *Ideophones*. Amsterdam/Philadelphia: J. Benjamins.

von Staden, P. M. S. 1977. Some remarks on ideophones in Zulu. *African Studies* 36: 195-224.

Watson, R. L. 2001. A comparison of some Southeast Asian ideophones with some African ideophones. In Voeltz & Kilian-Hatz, 385-406.